



ひすい

糸魚川市立ひすいの里総合学校

学校だより 3月号 (No.11)

令和7年3月17日発行



1年を振り返って



昨年の4月10日(水)に新入生6名(小学部1年生3名、中学部1年生3名)を迎えた入学式からスタートした令和6年度の学校生活がまもなく終わりを迎えようとしています。皆さんにとっては、それぞれどんな1年だったでしょうか。ひすいっ子たちは、今年度も一日一日を大切に、着実に学習を積み上げてきました。運動会や文化祭などの大行事はもちろんですが、個別や集団での学習、係活動など日々の授業の中でも、一人一人がそれぞれの目標に向かって努力を重ねてきました。その結果、全員が自らの前進を確かめることができる1年となったと感じています。

来月から始まる令和7年度には、進級・進学した学年で新しいクラスや友達との活動が待っています。ひすいっ子のみなさんのこれからの活躍を大いに期待しています。

職員一同、次年度も「ひとみを輝かせ、すてきな笑顔の、いつも元気な」ひすいっ子の頑張りを応援していきます。引き続き、よろしくお願いいたします。



1年間がんばった会(小学部)

3月7日(金)、小学部の「1年間がんばった会」を行いました。当日は司会係の進行に沿って、自分たちで制作した看板や共同制作「はる・なつ・あき・ふゆ」を見ていただいたり、歌や演奏を披露したりしました。その後、保護者の方と一緒にパラバルーンなどを楽しみました。また、授業で子どもたちが作った1年間の振り返るスライドや一人一人のがんばった賞が動画で発表されました。日頃の学習の成果が発揮された「1年間がんばった会」でした。どの発表場面でも保護者の皆さんから大きな拍手やお子さんの頑張る姿を熱心に撮影する姿が見られました。

ご多用の中、多くの方々にお越しいただき本当にありがとうございました。



裏面もご覧ください。

卒業・進級を祝う会（中学部）



3月6日(木)、保護者の皆様をお招きして、中学部の「卒業・進級を祝う会」を行いました。今年も、学部全員で互いの卒業や進級を祝い、1年間取り組んできた活動を披露し合いました。会が始まってすぐは、生徒も保護者の皆さんも少し緊張気味でしたが、一緒に「みんなで楽しもう～レクリエーション～（1年間の行事すごろく）」を行う頃には、徐々に笑顔が増えてきました。なかなか駒が進まなかったり、一回休みになったりと様々なハプニングがありましたが、みんなで1年間の思い出を振り返ることができました。「3学期がんばったムービー」の発表では、生徒が選んだ思い出の写真に文字を入力した動画を保護者の方に見ていただきました。また、出し物発表では、卒業生も在校生も一緒になり、手話を交えた歌やマツケンサンバの曲に合わせたパフォーマンスを披露しました。それぞれが1年間の成長を振り返り、思い出に残る楽しいひと時を過ごしました。保護者の皆様、ご多用の中、ご参観いただきありがとうございました。



今年度実施した職員研修について

年間を通して、子どもたちの頑張っている姿をご紹介してきました。職員も、子どもたちにより良い支援をするための研修を続けてきました。昨年度に引き続き、作業療法士の大島弘子先生からは、年間を通して定期的に学校にお越しいただき、子どもたちの行動の捉え方や支援の仕方など、職員だけでは気付きにくい新たな視点からのアドバイスをたくさんいただくことができました。

昨年長期休業中は、市内の小中学校の特別支援教育に携わる職員とともに、研修会も実施しました。

**1年間、ご協力をいただき、
ありがとうございました。**



裏面もご覧ください。